



(1915-1997)

A Tribute to

リ
ヒ
テ
ル

Sviatoslav Richter

2015.3/13 [Fri.] - 4/12 [Sun.]

に
捧
ぐ



(生誕100年記念)

ぐ

20世紀を代表する巨匠
リヒテルの世界が、ここに甦る――

東京
春祭
TOKYO OPERA NOMORI

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森2015—
SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2015

主催：東京・春・音楽祭実行委員会
後援：ロシア連邦大使館

音楽の巨人を知ろう

「リヒテル」という名を聞いても、若い世代にはピンとこないかもしれない。無理もない。1997年に82歳で他界してから20年近くたつた。しかし、このロシアのピアニストは70歳まで引退する以前からたびたび日本を訪れ、この国を愛し、各地で公演を行なった。

初来日は大阪府博の1970年。時をはかるに超えた「巨人」の出現に人々は圧倒された。いっしょにリヒテルはプログラムを事前に公表しなくなり、舞台を暗くして、スポットライトひとつで譜面を見ながら演奏するという特異な形式をとるようになった。それでも会場は常に満員で、聴衆は演奏の力強さと美しさに感動した。

今、それを体験しようとしてリヒテルのCDを聴いても、やはりピンとこないかもしれ

れない。往年のファンに問えば「生演奏で聴かないとわからない」と一矢に付かれよう。もっとも実演を聴いた人にとっても、リヒテルは存在自体が「謎」なのだ。近年、関連書も出て、生い立ち、文学・芸術をめぐる博覧強記ぶり、幅広い交友関係が明らかにされて、彼への関心はいっそう高まっている。

「リヒテルに捧ぐ」と題した生涯100年記念プロジェクトは、このピアニストの「謎」に迫るまたとない機会だ。弟子や共演者等による4つのコンサートと、関係者の集うトーク、写真展、ドキュメンタリー映画上映などで構成される。今回を通した2度目はないかもしれない。「音楽の巨人」の想いを引き継ぐ人や、語れる人がいる。彼らの音と言葉にじっくり接してみたい。

宮澤淳一（音楽評論家）

ヴァン・マルディシアン (指揮) Vahan Mardirosian (Conductor)



アルメニアのエレヴァン生まれ、パリ音楽院を首席で卒業。ピアニストとして欧米・アジアでリサイタルを聞き、室内楽ではギタリス、ロストロポヴィッチらと共演。指揮者としても非凡な才能を発揮し、著名楽団に多数客演。2014年には日本のオケストラにもデビューした。

出演：3/21【土・祝】

アルチュール・アンセル (ピアノ) Arthur Ancelle (Piano)



7歳のとこ、ミュンヘン・ノルム音楽院でアルフレッド・コルトーの指導を受ける。その後、数々の国際コンクールで優勝、フランス現代音楽大賞で演奏する一方、アメリカ現代音楽をフランスに紹介。近年ベルリンスカヤとアン・デュオを結成し、大きな反響を呼んでいる。

出演：3/21【土・祝】

ドミトリー・アンティポフ (振付・舞踊) Dmitry Antipov (Choreography/Dance)



48リシエルのエレヴァンで舞臺を学び、在学中から様々なコンクールで賞を獲得。毎夜で舞臺演出として活躍する他、国際フォーラム「21世紀のバレエ」等に参加。2014年からクラスノヤルスク・オペラ・バレエ劇場のチーフ・ダンサーを務めている。

出演：3/21【土・祝】

エリザベト・レオンスカヤ (ピアノ) Elisabeth Leonskaja (Piano)



グルジニアのトビリシ生まれ。モスクワ音楽院在学中にローン・ティボー、エリザベト・王妃等、主要コンクールで多くの入賞を果たす。1979年ザツパルク音楽祭において西側の多くのキャリアをスタートさせ、今日に至るまで華やかな活躍を続けている。リヒテルとの親交も深かった。

出演：3/21【土・祝】、4/2【木】

ボロディン弦楽四重奏団 Borodin Quartet



ルーベン・アハロニアン (第1・Violin) Ruben Aharonian (1st. Violin)
セルゲイ・ロモフスキー (第2・Violin) Sergey Lomovsky (2nd. Violin)
イゴール・ノヴァチン (Viola) Igor Novitskiy (Viola)
ウラディミール・バリン (Cello) Vladimir Balashin (Cello)

リュドミラ・ベルリンスカヤ (ピアノ) Ludmila Berlinskaya (Piano)



ボロディン弦楽四重奏団の創設メンバーであるヴァレリヤン・ベルリンスキー(チェロ)を父に持ち、音楽的な環境で育つ。モスクワ音楽院で学び、数々の国際コンクールで優勝。モスクワ・フルバーノフ・管弦楽団のピアニストを務めるとともに、世界中で演奏活動を展開。

出演：3/21【土・祝】

トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ (管弦楽) Tokyo Mozart Players (Orchestra)



指揮者の坂東眞澄の呼びかけで1995年に結成。三重市芸術文化センターを拠点とし、古典からオケまで多様な楽曲に取り組んでいる。メンバーにはNHK交響楽団他、国内外の楽団の演奏家や次世代を担う若手が多い。名演奏家との共演やリサイタルも多い。

出演：3/21【土・祝】

ヤロスラヴァ・ナグマワ (舞踊) Yaraslava Nagurnova (Dance)



ロシアのクラスノヤルスク・オペラ・バレエ劇場に所属し、2010-14年、同劇場の美術ディレクターに就任。また「クラシカ・ミル・ク」エフのクリエイティブ・ワークショップ「現代コレオグラフィのタペ」プロジェクトにも参加した。

出演：3/21【土・祝】

アレクサンドル・メルニコフ (ピアノ) Alexander Melnikov (Piano)



モスクワ音楽院で学ぶ。リヒテルと出会い多大な影響を受ける一方、リヒテルはメルニコフを定期的に音楽家に招いた。録音活動も盛んで、シュスタコヴィッチ (240前奏曲と7つのCD) の多くを弾き録く。古典音楽にも取り組み、ソロ、室内楽、協奏曲等多方面で活躍中。

出演：3/29【日】

2015年、結成70周年を迎え、世界各地で公演を行う予定。メンバー交代を続ながらも、数年前関係にあったシュスタコヴィッチや、ペーヴェン等の室内楽に続いて確固たる実績を築き、リヒテルを始めとして、多くの音楽家と共演し、数多の名演を後世に遺した。

出演：4/2【木】

東京・春・音楽祭

～東京のオペラの森2015～

3.13 Fri.-4.12 Sun.

東京・春・音楽祭チケットサービス

オンラインでのお申込みは

<http://www.tokyo-harusai.com/>

公式ホームページだからこそ、嬉しいサービスたくさん!

桜が訪れ
春が始まる
音楽の森に
上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りでお祝い——

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたって開催する音楽祭です。東京文化会館での「クラシック・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術、博物館を会場としたミュージアム・コンサート、無料の小さなコンサート(桜の下の音楽会)など、約130の公演を開催いたします。桜が咲き始める春のひととき、上野のあちこちの場所から、色とりどりの音楽が聞こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭」(東京のオペラの森2015)は東京・上野の春を美しく彩ります。



※公式HP内オンラインチケットサービスで閲覧でき、上記サービスを利用しない場合は、サービスの対象となる公演や席数は限定させていただきます。詳細は公式HP「チケット」ページにてご確認ください。●チケットは、団体での応募等、詳しくは音楽祭実行委員会までお問い合わせください。●未就学児のこ入場には保護者の同伴が必要です。●掲載の情報は2014年12月1日現在のものです。やむを得ず変更により、内容に変更がある可能性があります。●公演・音楽祭変更による振替はいりませんので、あらかじめご了承ください。

トーク・イベント・ドキュメンタリー・フィルム上映会【入場無料・事前申込制】
お申込みは公式ホームページまたは東京・春・音楽祭チケットサービス
受付期間：2014年12月8日(月)～2015年3月10日(火) 先着順、予定人数に達し次第、受付を終了いたします。
※1人につき、登録4名様まで。●写真撮影につきましては、事前のお申込みは不要です。

その他プレイガイド
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレータ)
チケットぴあ <http://t.pia.jp> 0570-02-9899 (音声自動応答) ☎597-881/597-910 ※3月21日公演のみ
ローソン・チケット <http://l.tk.jp> 0570-08-0888 (音声自動応答) ☎34312/34313 ※3月21日公演のみ
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>
数大アートプラザ 店頭販売のみ (東京都台東区上野公園12-8)
※3月21日【土・祝】(無観客観覧席) (オペレータ) 公演のみ販売

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-5205-6497

